

会 議 要 旨

			記 録 者	小 崎 貴 行	
供 覧	部 長	課 長	補 佐	係 長	課 員
件 名	第3回 龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生有識者会議				
日 時	平成27年9月30日(水) 午後5時から7時まで				
場 所	市役所5階 全員協議会室				
出席者	<p><参加者> 大竹 昇, 重田一男, 諸岡徹也, 溝田泰夫, 苦瀬博仁, 磯貝浩昭, 片平正夫, 関口哲也, 鈴木賢次, 水野保子, 吉葉修子, 木村和雅</p> <p><執行部> 中山市長, 川村副市長, 直井総務部長, 松尾総合政策部長, 龍崎健康福祉部長, 加藤市民生活部長, 菅原都市環境部長, 荒井教育部長, 青山議会事務局長</p> <p><事務局> 企画課 宮川課長 大貫課長補佐 関ヶ原係長 記録者</p>				
欠席者	4人				
傍 聴	0人				
議 題	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1) 龍ヶ崎市人口ビジョン(案)について (2) 龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について 4 閉 会				
情報公開	公 開	非公開(一部公開を含む)とする理由		(龍ヶ崎市情報公開条例9条 号該当)	
	非 公 開	公開が可能となる時期(可能な範囲で記入)		年 月 日	

発言者	発言内容
事務局	【開会】
中山市長	【あいさつ】
溝田座長	【あいさつ】
<p>【議事】 (1) 龍ヶ崎市人口ビジョン(案)について (2) 龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について 《資料に基づき、一括して事務局より説明》</p>	
<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> • パブリックコメントは、どのような方法で実施されるのか。 → 広報紙や市公式サイト、SNSなどを通じて情報発信していく。資料については市公式サイトに掲載する外、主要な公共施設等に備え付ける予定である。有識者会議参加者には別途送付したい。 • 主な事業に、継続という記載があるが、継続するということは、今までの成果を踏まえ、総合戦略に入れるべきと判断したのか。 → これまでに一定程度の成果があり、今後もそれが陳腐化しないと判断した。 • 本市において、水害の可能性やその対応策というのは、どのように考えているのか。 → 昭和56年の小貝川決壊による水害の後、堤防強化事業等により一定の安心感があると認識しているが、絶対はないと考えている。市内全域の洪水ハザードマップを作成し、地震等の対応等を含む防災マップとして、市内全戸配布している。 • 防災対策は重要だが、常総市の水害の経験を踏まえ、有事の際の情報連絡体制や避難誘導、避難指示といった連絡体制の整備をお願いしたい。 • P21 被災した際に、物資をどこまで供給できるかを心配している。国では、首都直下型地震への対応を始めているが、地方自治体でも一歩踏み込んだ災害対策を取り入れる必要がある。 • P13 では龍ヶ崎駅の北地区を新都市拠点開発エリアと位置づけていて、P23 ではネットワークでコンパクト化を図るとする議論は並立するのか。都市のコンパクト化を図り公共物資の無駄を減らす一方で、新都市拠点開発により拠点が增多することが気がかりである。 → ふるさと龍ヶ崎戦略プランでは、龍ヶ崎駅北地区について新たな商業拠点の魅力の高い候補地として掲げ、商圈調査や交通量調査などの影響度調査を実施してきた。考え方を整理して、旧市街地と一体性を持ったまちづくりを進めたいと考えおり、4つの市街地それぞれでコンパクト化を実現したいと考えている。 • 地域でも災害に対して備えており、市でも防災計画に見直しを段階に行っているので安心している。しかし、油断は危険であるので、市と共に地域でもしっかり取組みたい。 • P17 チャレンジショップの運営を主な事業としているが、創業者の支援を主な事業として、その中の取り組みのひとつとした方がよい。また、産業力強化法が成立して、地域の金融機関や市町村、商工会などが連携を図って創業支援事業に一体で取組むといったことが始まっている。 → 意見を参考に整理したい。 	

- ・農業政策について、大規模化は不可欠だと考える。全体の土地の流動化などは農地法等の関係もあるため、地方自治体だけで取組めるものばかりではないが、重要産業であるので取組む必要がある。

→農業経営者の高齢化が進んでいて、後継者問題がある。農地は産業基盤であると同時に都市景観の要素があるので遊休農地を増やさないことが大切だと考えている。また、他の地域よりよい農産品であるとPRするため、農産品のブランド化による高付加価値化を図るため、一定の基準を定めたブランド化の拡大を進めている。
- ・子育て環境日本一というフレーズは非常にインパクトがある。日本一を目指すためには、たくさんの制度や施策を設けていることもインパクトになり得る。よい制度が構築できていると思うので、PRを工夫すれば、施策も生きていくのではないかと。
- ・道の駅をつくるのであれば、来客者が楽しめる温浴施設などがあれば立ち寄りやすいのではないかと。

→道の駅の役割として、地域への経済的な効果や製品の販路拡大、就業の場ということが考えられる。また、交流人口を増やすため、様々な付加価値に特徴を出していきたいと考えている。
- ・コミュニティバスの充実を図り、時間距離の短縮によりコンパクトシティを実現するという事は、ぜひお願いしたい。文化会館で行われる文化の祭典や長寿大学は、多くの高齢者が車で集まることから、事故が危惧されるので、優先的にバスを配車するなどしていただきたい。

→コンパクトシティは、四つの市街地でそれぞれ形成していきたいと考えている。一方で、公共施設については、それぞれで整備するばかりでなく、市街地間のネットワークが重要と考えている。イベントのバスの運行は、関東鉄道との調整により臨時便を出した経緯もあるので検討していく。
- ・四つの市街地をコンパクトに形成していくのは賛成だが、一方で開発を進めるとしているところが気がりである。
- ・継続する事業などについて、どこまで取組まれているかがわかる資料が必要ではないか。具体的にどのようなことに取組んでいるのか、可視化が必要ではないか。
- ・ボランティアに対して意識の高い方も多くいるので、ボランティアの受付窓口が必要ではないか。また、ボランティアの組織化の検討とともに、表彰制度があれば、意識のある方の受け皿になる。

→1地域の活動を助け合うネットワークづくりとして「まちづくりつなぐネット」を運用している。支援を必要とする団体と応援したいという団体・学校・企業をつなぐ制度である。
- ・どの程度のスパンでPDCAを回していくかによって、取り組み方が変わるので、サイクルの期日を定めた方がよいのではないかと。

→PDCAサイクルは、1年間の事業について毎年検証したいと考えている。総合戦略については、平成29年度から予定している最上位計画に包括される予定であるので、併せて行政経営評価委員会などにおいて意見を聞きながら、見直していきたい。
- ・子育て日本一や住んでみたいと思うまちづくりを進める中で、外部に向けて、どのように市の取り組みをアピールするかがポイントになる。よい取り組みであっても知られていないことで結果が出ないことがあるので検討してほしい。

→情報発信は、ターゲットを絞った取り組みが重要と考えている。現在、シティプロモーション活動の専任の部署をつくって本格化させつつある。
- ・KPIや5年後の目標が定まっていないということは、これから具体的な数字を決めて取り組んでいくことか。

→現状としては、事務局や担当課で考えられる指標を掲載しているので、実際の主な事業とともに精査していきたい。これらの指標は、毎年の進行管理、進捗管理等々に合わせながら、見直しを図っていくことも検討する。